

東京都農林・漁業振興対策審議会（総会・書面開催期間中に表明された個別意見）

委員名：原 のり子委員（所属部会：農業部会）

答申についての意見

林業、漁業それぞれの部会で大変熱心な議論が重ねられ、答申案をまとめてくださったことに深く敬意と感謝を申し上げます。とくに、コロナ感染も広がるもとで、大変なご苦勞があったと思います。

読ませていただき、林業・漁業を守るうえで、後継者の育成と新規の就業者の支援・育成が重要であることはいうまでもありませんが、そのためにも、現在の従事者のみなさんへの直接支援の充実が欠かせないと思いました。

同時に、東京の林業や漁業を守るには、広く都民が理解を深め、応援していくことが大事だということも実感しました。

保育園や幼稚園、学校教育が重要であることについても書かれています。木育の重要性が述べられていて、心身の豊かな成長に貢献することや、そのなかで林業の大事さを学んでいくことができることは重要です。そのときに、多摩産材を活用することは有効だと思いました。そして、学校での国内の森林の学習時に、東京都が専門家を派遣するなどの協力も提案されています。ぜひ、応えていくことが重要だと思います。あわせて、教員や保護者にも多摩地域の森林や林業の現場を訪れる機会の創出が提案されています。具体化をすすめることが都に求められるのではないのでしょうか。

また、漁業についても、担い手となる島しょの高校生などへの働きかけや、水福連携も進めていくことが述べられていますが、東京都の積極的なとりくみが求められているのではないのでしょうか。

示唆に富む、大事な答申案だと思いました。知らなかったことが多くあり、これを機に自分自身、きちんと学んで、東京都の施策に反映できるように提案していけたらと思いました。ありがとうございました。

東京都農林・漁業振興対策審議会（総会・書面開催期間中に表明された個別意見）

委員名：関森 道子委員（所属部会：農業部会）

この度はコロナ禍の中での審議会の開催・そして答申案の作成といつになくご苦労があったのではないのでしょうか。ありがとうございました。農業部会に所属している私は林業や漁業のことをあまり知らず今回皆さまの活発な発言を拝読しそれぞれに抱えている問題を知り改めて学ばされました。後継者問題はどちらも同じで東京には山もあるよ、魚もとれるよということを先ず一人でも多くの方に知っていただくことだと思いました。東京の農産物として農業・林業・漁業が一同に会し何度もPRのイベントをするのです。その中で興味をもってくれる人がいたら後継者問題も少しは解決するのではないのでしょうか。

気候変動の厳しさもありますが、東京の農林漁業発展のためお互い共に創意工夫しながら前に進んでいきましょう！

このコロナ禍の中関係者の皆さまたいへんお世話になりました。

ありがとうございました。

一言お礼が申し上げたくて12/9までに間に合いませんでしたが、書かせていただきました。